平成二十五年度第二期くまもと俳句ポスト

第二期開函

現代俳句協会会員　　星永　文夫　選

**特選**

それからと言ひて漱石秋扇　　　　　　　　　千葉県旭市　　　神田順二

【講評】漱石記念館の座敷に坐れば、秋扇をバシッと打ちながら、漱石先生、「さて、それから…」とちそうな、そんな様が浮かぶという。もちろん『それから』は漱石の名作の一、その薀蓄をさらりと表出したのがいい。

**入選**

阿蘇の秋スイッチバックの停まる駅　　　　　福岡県福岡市　　河野涼子

夢見しやＡ列車の先初夏の風　　　　　　　　熊本県熊本市　　吉井巧

今脱ぎしごとく八雲の冬帽子　　　　　　　　福岡県筑後市　　埴生洋美

**佳作**

四時軒に韻美しく昼の虫　　　　　　　　　　福岡県春日市　　本田久子

夕立ちに八雲居立ち寄り歴史知る　　　　　　福岡県福岡市　　廣重元子

四時軒の格子窓より秋の雲　　　　　　　　　熊本県熊本市　　児玉胡餅

金峰や千年樟の大西日　　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　田中和明

懐かしや八雲の杜の蝉時雨　　　　　　　　　熊本県熊本市　　北里府巳洋

新緑に涼を求めて水前寺　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　石田人成

くまモンはねがいかなえてくれるかな　　　　福岡県福岡市　　廣重菫

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　投句総数　　　　一〇一句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市外　　　　　　　四六句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市内　　　　　　　五五句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　開函日　平成二十五年十月三十一日